

平成22年3月5日

各位

上場会社名 株式会社 稲葉製作所
 代表者 代表取締役社長 稲葉 明
 (コード番号 3421)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 江口 勤
 (TEL 03-3759-5181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年9月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年7月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	△30	40	0	0.00
今回発表予想(B)	12,170	△360	△230	△240	△13.39
増減額(B-A)	△830	△330	△270	△240	
増減率(%)	△6.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年7月期第2四半期)	13,515	△484	△367	△80	△4.49

平成22年7月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,800	290	450	190	10.60
今回発表予想(B)	25,600	△360	△160	△250	△13.95
増減額(B-A)	△1,200	△650	△610	△440	
増減率(%)	△4.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年7月期)	26,478	△783	△587	△2,004	△111.83

平成22年7月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,600	△30	40	0	0.00
今回発表予想(B)	10,570	△350	△220	△230	△12.83
増減額(B-A)	△1,030	△320	△260	△230	
増減率(%)	△8.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年7月期第2四半期)	12,109	△479	△355	△58	△3.25

平成22年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,000	290	450	190	10.60
今回発表予想(B)	22,400	△350	△150	△250	△13.95
増減額(B-A)	△1,600	△640	△600	△440	
増減率(%)	△6.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年7月期)	23,619	△706	△505	△1,933	△107.89

修正の理由

(1)連結

第2四半期連結累計期間につきましては、企業の設備投資抑制、戸建て住宅着工件数の低迷等、当社グループを取り巻く厳しい経営環境の中で、物置(ガレージ)及びオフィス家具(椅子)など新製品の市場投入により売上の拡大を図りましたが、消費マインドの回復に至らず、特にオフィス家具の売上の落ち込みが想定を上回った結果、売上高は当初予想比△830百万円の12,170百万円となる見込みであります。利益面につきましては、売上高の減少による影響が大きく、諸経費の圧縮に努めましたが営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初予想を下回る見込みであります。

通期につきましては、引続きオフィス家具需要の回復が見込めないため、売上高は当初予想比△1,200百万円の25,600百万円(前期比△3.3%)となる見通しであり、利益面におきましても、大和工場閉鎖等による構造改革効果により前期実績を上回るものの、当初予想を下方修正するものであります。

(2)個別

個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由で修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上